

伊賀市社協だより

令和元年9月15日発行
No.164
9月号



市民ふくし
大学講座



◇この講習会は、市民ふくし大学講座 基礎講座です。
専門講座を終了すると、いが見守り支援員として認定されます。

基礎講座

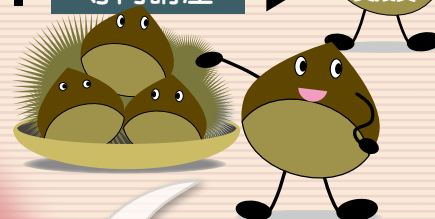
+

専門講座

いが見守り
支援員

第20期 いが見守り支援員養成公開講座

主催／伊賀市社会福祉協議会 共催／一般財団法人 三重県友の会伊賀支部



どなたでも受講いただけます。
見守り支援員になるためには、
専門講座（20時間程度）の
受講が必要です。

★情報支援が必要な方は、
お早めにご連絡ください。

● 普段のくらしの中の、日常のおつきあいの大切は ●

支え合い・ つながりのある 地域づくり



とき 令和元年 **10月23日** 水
13:30～16:00

ところ **蕉門ホール**（前田教育会館）
（伊賀市大谷 670 ☎24-5511）

プログラム

13:30～
◆市民ふくし大学講座見守り支援員ガイダンス
14:00～
◆講演 / 「支え合い・つながりのある地域づくり」
講師 / 全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘氏

池田 昌弘氏 プロフィール

全国コミュニティライフサポートセンター 理事長
社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人栃木
県社会福祉協議会、社会福祉法人東北福祉会「せんだ
んの杜」副社長（特別養護老人ホームなどの施設長を
併任）を経て、2005（平成 17）年 7 月から現職。

【委員】

- ・厚生労働省 地域共生社会に向けた包括的支援と多様
な参加・協働の推進に関する検討会 委員（令和元年度）
- ・厚生労働省 共生型サービスの実態把握及び普及啓発
に関する調査研究事業検討委員会 委員（令和元年度）
- ・厚生労働省 中山間地域における複合的な地域共生社
会に向けた調査研究事業 委員（令和元年度）

参加費無料・申込不要

■ 問い合わせ先／伊賀市社会福祉協議会 ☎0595-21-5866・FAX26-0002

おしえて★

その②③

「共同募金ってなんだぐり？」の巻

地域のふくし



ぼく、三重県伊賀市の観光大使、いが☆グリオだぐりよ♪
伊賀市に住んでいる小学校3年生として、だいすきな伊賀のふくしのこと、もっと知りたいぐりっ★

今月お答えするのは

阿山地域センターの、今中美紀です。
共同募金の取り組みについてご紹介します!!



ねえねえ、「赤い羽根共同募金運動」って、どうやって始まったぐり？

戦後間もない昭和 22 年 (1947 年) から、市民が中心となって始まった募金活動で、福祉のまちづくりを支える募金なんですよ。
今年も 10 月 1 日から 3 月 31 日まで全国一斉におこなわれます。



そうなんだぐりね！募金にはどんな方法があるぐりか？

戸別募金、街頭募金、法人募金、学校募金、職域募金、イベント募金、個人募金などがあります。地域の福祉に関心をもっていただけるよう、さまざまな場面で募金活動がおこなわれているんです。



募金の種類	運動期間	募金のつかいみち	募金の方法
一般募金 (赤い羽根共同募金)	10～12月	社会福祉団体や社会福祉施設の事業活動費、市町村地域福祉活動費、災害時の被災地支援活動等	戸別募金・街頭募金・学校募金・法人募金・職域募金・個人募金・イベント募金・その他
歳末たすけあい募金	12月	歳末時期にさまざまな地域福祉活動を重点的に展開	戸別募金 (その他、NHK 歳末たすけあい)
テーマ型募金	1～3月	支援する福祉課題 (テーマ) に対する募金	



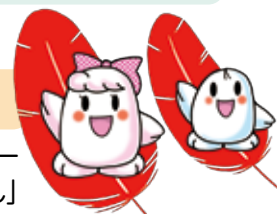
へえ～！集められた募金はどうなるぐり？

伊賀市で集められた募金の約 8 割はふれあい・いきいきサロンや地域の福祉団体の活動費や交流会・研修会などの市内の地域福祉活動に使われており、約 2 割が三重県内の福祉活動や災害支援のために使われます。
詳しくは、「赤い羽根共同募金のお願い」(P4～5) を見てくださいね。



ところで、「愛ちゃん」と「希望くん」ってだれなんだぐり？

共同募金運動のシンボルキャラクター
「愛ちゃん」と「希望くん」



「愛ちゃん」と「希望くん」は、共同募金運動のシンボルキャラクターです。お姉さんの「愛ちゃん」と弟の「希望くん」は、共同募金運動の広報活動を活発にし、かつ運動に親しみを感じてもらえるように作成されたんですよ。共同募金は、地域の皆さんのやさしい気持ちが集まって、自分たちのまちを良くする活動に使われます。ぜひ、皆さんもご協力ください★



★僕もガチャガチャ募金の缶バッジで協力しているぐり！
自分たちのまちを良くする『共同募金』にみんなで協力しようぐり！

伊賀市社会福祉協議会 理事・監事のご紹介

任期満了に伴う伊賀市社会福祉協議会理事・監事の改選を実施いたしました。新たに選任された方々は、次の通りです。

役職	選出区分	氏名(敬称略)
	学識経験者	福壽 勇
会長理事	地域住民団体の代表者	奥 千史
	地域住民団体の代表者	奥澤 重久
副会長理事	地域住民団体の代表者	北川 幸治
	社会福祉施設等の社会福祉事業を経営する団体の役員	小竹 紀忠
理事	ボランティア活動を行う代表者	中村 伊英
	民生委員児童委員連合会	松井 謙二
	行政役職員	田中 満
	学識経験者	平田 久二
	学識経験者	勝本 順子
	伊賀市社協常務理事	平井 俊圭
業務執行理事	伊賀市社協事務局長	乾 光哉
	地域の福祉関係者	中嶋 孝
監事	財務諸表等を監査しうる者	辻村 美樹
	顧問	
学識経験者		中林 豊

(任期：令和元年6月27日～令和3年6月定時評議員会まで)



『超音波内視鏡の導入』

伊賀市立上野総合市民病院

消化器・肝臓内科

池田 正俊

当院では本年6月に超音波内視鏡(EUS: Endoscopic Ultrasonography)を導入しました。EUSは、超音波(エコー)装置が備わった内視鏡で、胃・十二指腸からその周囲の組織や臓器などを観察できます。EUSは一般的な体表からのエコー検査と異なり、胃や腸の中の空気や腹壁、腹腔内の脂肪、骨がエコーの障害になることがなく、目的の病変の近くから観察が行えるため、より詳細に病変の位置や大きさや内部構造などの情報を得ることができます。さらに消化管の内側から病変に直接針を刺して組織を採取(生検といいます)することにより確定診断も可能です。胃力メラと同じように口から内視鏡を挿入しますが、鎮静剤や鎮痛剤を使用してできるだけ負担のないようにしています。

当院では、主に膵臓疾患に対する精密検査として用いています。膵臓疾患の中でも膵がんの早期発見が重要です。膵がんは早期の状態では自覚症状がほとんどなく、進行してから腹痛・体重減少・黄疸などで気づくことがほとんどです。そのため、膵がんを診断されたときは進行した状態で見つかることが多いのです。早期発見のためには膵臓のリスクを複数有する方への検査が重要と考えます。合併症(慢性膵炎・糖尿病・膵管内乳頭粘液性腫瘍・膵嚢胞・肥満)

EUSを行うには特殊な技術が必要のため、全スタッフが日々研鑽を重ねています。これから、より高度な医療の提供に努めていきますので、どうぞよろしく願っています。

伊賀市立上野総合市民病院

TEL 0595 (24) 1111
FAX 0595 (24) 2268

平成30年度 伊賀市共同募金委員会実績額

12,600,802 円

戸別募金 7,099,875 円	職域募金 1,310,168 円
街頭募金 482,835 円	個人募金 448,255 円
学校募金 241,312 円	イベント募金 388,780 円
法人募金 2,150,233 円	その他 479,344 円

配分金は、令和元年度事業に充当されます。

ご協力ありがとうございます



令和元年度 共同募金配分金事業予算 【三重県共同募金会 伊賀市共同募金委員会配分】

災害見舞金・災害救援支援金給付事業

市内で発生した、天災人災を問わない局地的災害により全焼（全壊）または半焼（半壊）の被災者への見舞金や、地域住民による炊き出し等の支援活動への支援金を給付します。

福祉映画会等開催事業

市民への福祉活動の啓発として、福祉映画会を開催します。配布した鑑賞券代は、イベント募金として取り扱います。

緊急食料等提供事業

市内居住の低所得者が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合、食料等の現物提供により、世帯の自立生活を支援します。

子育てサロン講師派遣事業

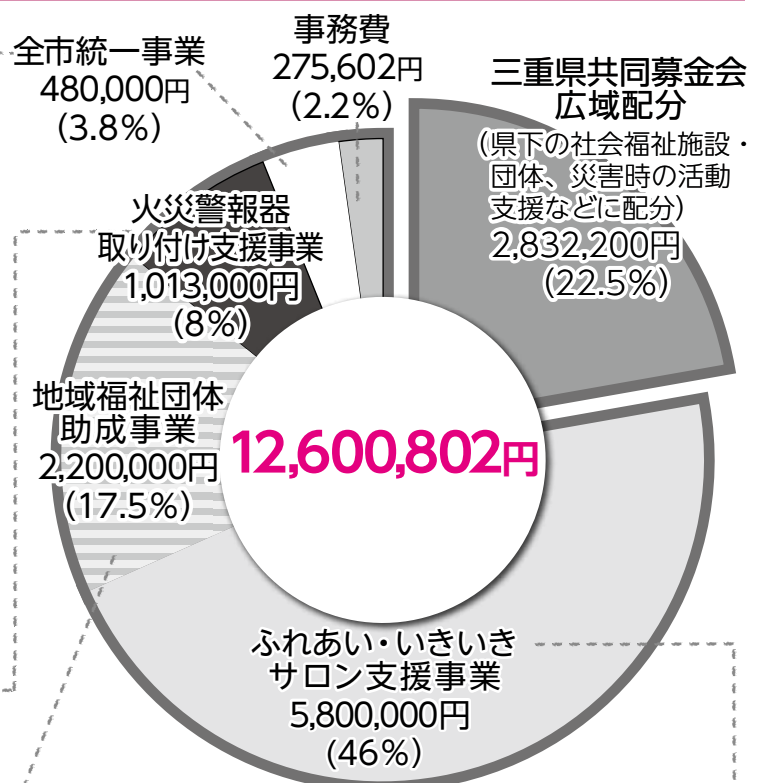
音楽療法及び3B体操教室、ベビーマッサージの講師を派遣します。

火災警報器取り付け支援事業

重度心身障害者や一人暮らし高齢者世帯等の火災警報器設置状況を調査し、必要に応じて取り付けを支援します。

地域福祉団体助成事業

地域福祉に取り組む当事者組織、ボランティア市民活動団体、地域団体等に対し、資機材購入や研修・調査活動等への助成を行います。



ふれあい・いきいきサロン支援事業

身近な地域で、高齢者や障がいのある方、子育て中の親、ボランティア等が協働で企画・運営をし、見守りや閉じこもり、孤立や介護予防を目指す仲間作りの場を支援します。

地域福祉団体助成事業



(青山介護者の会コスモスの会)

ふれあい・いきいきサロン支援事業



(内保ほほえみサロン)

ひとりひとりのやさしい気持ちが、まちの福祉を支えています。

赤い羽根 共同募金 ご協力の お願い

令和元年度 目標額
12,132,500 円



あなたの町の募金は、 あなたの町のために使われています。

赤い羽根共同募金は、行政の手が届かない
小さな「困ったこと」のために使われています。
たとえば、あなたの住むAという市町村で募金をする、
その大切なお金はAという市町村の「困ったこと」に使われる。
赤い羽根は「この町を良くしたい」という意志ある募金なのです。

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金



市民のみなさまへ

Red Feather Community Chest Movement

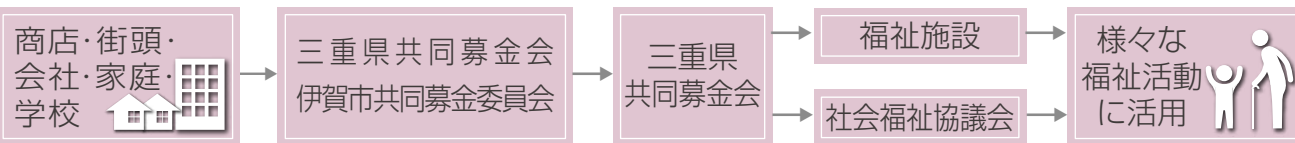
秋の深まりとともに、今年も赤い羽根共同募金運動の時期がやってきました。

昨年は、市民の皆さま方の深いご理解とご協力により、多大なる募金が集まりましたことを厚くお礼申し上げます。寄せられました募金は、社会福祉協議会をはじめ、福祉施設、ボランティア団体等に配分され、伊賀市内の高齢者や障がい者、子どもたちを取り巻く、様々な福祉活動に大きな役割を果たさせていただいております。また、頻発する国内での風水害や地震による災害救援活動にも活用させていただいております。

今年も、10月1日から全国一斉に、赤い羽根共同募金運動が展開されます。だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域社会づくりの実現のため、この運動に多くの方々のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三重県共同募金会伊賀市共同募金委員会 会長 松井 謙二

■共同募金の流れ



三重県共同募金会 伊賀市共同募金委員会

〒518-0869 伊賀市上野中町 2976-1 上野ふれあいプラザ3階 ☎0595-21-5866

ボランティア・市民活動NEWS

第11回 いがまちボランティアまつり

「地域にひろがり 地域が笑顔に」
地域のボランティアを知るチャンス！
たくさんのご来場お待ちしております。

【日時】10月20日(日)

10時～13時

【会場】いがまち保健福祉センター
愛の里

【主催】いがまちボランティア連絡協議会

【内容】

◆ボランティア活動紹介

◆元氣いっぱいキッズダンス「フールズバスケット」が登場！

◆バールンアートの実演「やっちゃなんふくちゃん」

その他、お子様から大人まで皆が楽しみながら、ボランティアや福祉を学べるブースや屋台を準備しています。ぜひお越しください。
【問い合わせ先】伊賀市社協いがまち地域センター
☎45・10012

認知症・介護予防教室のご案内

音楽療法うたおう会を通して楽しく健康づくりをしませんか？
はじめての方も大歓迎！
(参加費無料・申込不要)

音楽療法うたおう会

《上野会場》

【日時】10月23日(水)

10時～11時

【場所】ハイトピア伊賀5階

※駐車場は有料となります。

《阿山会場》

【日時】10月8日(火)

14時30分～15時30分

【場所】阿山保健福祉センター

《大山田会場》

【日時】10月9日(水)

13時30分～14時30分

【場所】大山田保健センター和室

※教室に関するお問い合わせは、各地域センターまでお願いします。

生活援助従事者研修(2回目) 受講生募集！

福祉・介護職場の人材不足を改善するため、働いていない方を対象に、生活援助従事者研修を行います。

【募集期間】10月21日(月)～11月29日(金) 必着

【研修期間】12月13日(金)

～2月13日(木) (12日間)

【受講場所】三重県社会福祉会館

(津市桜橋2・131)

【応募要件】三重県に住民登録している働いていない方で、概ね70歳未満の方

研修終了後、福祉・介護現場で働ける方

る方

【募集定員】39名(応募者多数の場合は抽選)

【受講料】無料(テキスト代は自己負担)

【申込・問い合わせ先】

三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター 介護職員初任者研修担当
☎059・227・5160

若者の職業的自立のための総合相談窓口

いが若者サポートステーション

～15～39歳までの「働きたい悩みを抱えている人」を支援しています～

★就職相談と各種講座をしています(要予約)★

■ストレスマネジメント講座

日時:9月24日(火)10時～11時30分

講師:岡田 敦さん(上野病院 公認心理師)
～認知(考え)と行動を主に使って、自分のストレスを知り、その対処法を身に着けるトレーニングをしましょう～

■住所/伊賀市上野丸之内57-4 センタービル1階

■☎&Fax/0595-22-0039 ■メール/iga-saposute@npo-en.or.jp

■開所日/月～金曜日 9:00～17:00(土・日・祝 年末年始は休み)

ハローワーク伊賀 出張相談日/9月17日(火)・10月15日(火) 13:00～16:00

無料

サポステ
地域若者サポートステーション仕事に
いける!!

無料「パソコン講座」開催

【PC入門 ワード・エクセル・パワーポイント】

●日程 10月7日(月)/9日(水)

11日(金)/16日(水)/18日(金)

●時間/10:00～15:15



国土交通大臣認定

福祉有償運送「移動・送迎運転協力者講習」
及び「セダン講習」受講者募集!!

令和元年度 第2期講習!!

定員30名(定員になり次第締切)

◆日時/令和元年11月16日(土)・17日(日) 8:30～17:00 ※2日間通して受講が必要

◆場所/いがまち保健福祉センター「愛の里」(伊賀市愛田513)

◆受講料/伊賀市・名張市在住在勤の方/10,000円
その他の方/12,000円(資料代を含む)

◆申込・問い合わせ先/いが移動送迎連絡会事務局(伊賀市社協内)

☎21-5866 / FAX26-0002

申込用紙は伊賀市社協各地域センターにおいてあるほか、FAXで送付します。

伊賀市社協HPからダウンロードもできます▶<http://www.hanzou.or.jp/>

◆申込期間/10月1日(火)～ ※申込者が15名未満の場合、開催できないことがあります。



2019年度

夏休みふくし体験教室 報告！

★市内 24 か所の福祉施設で、延べ約 80 名が交流体験を行いました。



♥ 障害福祉サービス事業 かしの木ひろば

ご利用者への昼食の配膳の体験などもしました。毎年、兄弟で参加している参加者からは、「車いすの使い方や、人との接し方など勉強になった。」との感想があり、施設スタッフからも「一生懸命取り組んでいました」とのお話がありました。



♥ 特別養護老人ホーム いがの里

リハビリの先生に教えてもらいながら、リハビリ活動のお手伝い！「ボールを投げる強さが難しかった」との感想でしたが、利用者さんから「上手やったよ。手伝ってくれて、ありがとう」と声をかけていただき、緊張もほぐれて笑顔に。



♥ デイサービスセンターしまがはら

スタッフから車いすの取扱い方法を聞き、利用者の受け入れから 1 日のスタート。車いすを押す係と荷物を運ぶ係に分かれ、利用者と一緒に食堂に向かいます。実際にお年寄りを乗せて動かすのは初めてで、ドキドキしながらも安全に移動出来ていました。



♥ 特別養護老人ホーム めくもり園

デイサービスに到着した人の手の消毒のお手伝い。「最初は緊張したけど『ありがとう』といってもらえてうれしかったです。勉強ではなかなか学べないことも教えてもらったし、介護される人の気持ちもよくわかりました。」との感想がありました。



♥ おおやまだデイサービスセンター鶴寿園

おじいちゃんおばあちゃんと一緒に遊んだり、体操したり、お手伝いをして、楽しく夕方まで過ごしました。「何をしているところか、わかった」「楽しかったし、また参加したい」などの感想がありました。



♥ 特別養護老人ホーム森の里（こだま館）

スタッフに教わりながら、利用者のおやつ作りにチャレンジ！参加者からは、「介護士さんは利用者さんのために何でもしてあげるのではなく、利用者さんはできる限り自分でするなど、知らなかったことが知れた」との感想がありました。

数字で見る伊賀市の福祉

令和元年7月31日現在(前月比)

伊賀市の人口	91,479人(-85人)	※集計処理の関係で前々月末日時点の数値です。
65歳以上の高齢者	29,622人(+30人)	※伊賀市の人口は外国人住民を含めた数です。
高齢化率	32.4%(+0.1%)	※65歳以上の高齢者及び高齢化率には外国人住民も含まれています。
75歳以上の高齢者	15,859人(+3人)	※75歳以上の高齢者及び後期高齢化率には外国人住民も含まれています。
後期高齢化率	17.3%(±0.0%)	※75歳以上の高齢者の全人口に占める割合を後期高齢化率と表記しています。
介護保険認定者数	6,206人(+36人)	※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。

あなたのまちのふれあい・いきいきサロン(151)

サロンゆいっこ



メンバー数／約 20 名
開催場所／ぬくもりの館「おとまる」
開催頻度／毎週月曜日

阿山の丸柱地域では、平成30年4月、「サロンゆいっこ」が丸柱地区市民センターでスタートしました。ゆいっこは気軽に寄ってもらえる居場所、参加者もお客さんではなく、運営に関わってもらえるような「お互いがお互いを支えあう仲間づくり」を目的に毎週月曜日に開催されています。ゆいっこの名前もそんな意味を持つ「結」から取っています。

ゆいっこでは参加者それぞれが得意なことを持ち寄り、時には講師となって好きなことをして過ごしています。月末にはスタッフの皆さんの心のもった昼食が提供され、参加者みんなで食べるのが楽しみのひとつとなっています。今年の4月にはまるばしら保育所の跡地に、新しい福祉の拠点、「ぬくもりの館 おとまる」が誕生し、ゆいっこもそちらに場所を移し開催しています。

代表者の川村さんは「今は週に 1 回しか開いていませんが、もう少し回数を増やして地域の人が誰でも気楽に自由に集える場にしたい。」と語ってくださいました。ステキな新しい拠点での皆さんの楽しい笑い声が印象的なサロンでした。

●活動をはじめたきっかけ

警察官の仕事定年退職まで勤めたあと、伊賀に戻り、仕事として伊賀市の業務に携わるかたわら、自治協活動に参加しました。初めは、前職のこともあり、防災・安全部会に所属していましたが、平成25年度からは、健康・福祉部会での活動依頼があり、現在まで続けています。

●活動内容

部会活動として、健康と交流のために、「歩こう会」を企画実施しています。また、「地域で安心して暮らすためのアンケート」から見えてきた課題の一つの「一人暮らし高齢者の見守り」に対して、同地区内の健康・福祉部会員による訪問を隔月で行い、日頃から顔のみえる関係づくりができるよう取り組んでいます。

●今後の抱負

少子高齢化、空き家の増加など、様々な課題がありますが、高齢になっても元気に活動できる地域、安心して子どもが育てられる地域になるよう行政との連携をしっかりとしながら活動をしていきたいです。



なかお こういち
中尾 功一さん (71 歳)
大山田在住
山田地域住民自治協議会
健康・福祉部会長

我
ら
！
ふ
く
し
レ
ン
ジ
ャ
ー

No.159

編集・発行



社会福祉法人 **伊賀市社会福祉協議会**

〒518-0869
伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ3階
TEL:0595(21)5866/FAX:0595(26)0002
E-mail:info@hanzou.or.jp(本部) ueno@hanzou.or.jp(上野地域センター)

〒519-1413
伊賀市愛田513番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」
TEL:0595(45)1012/FAX:0595(45)1050
E-mail:iga@hanzou.or.jp

〒519-1711
伊賀市島ヶ原4743番地 島ヶ原福祉センター「清流」
TEL:0595(59)3132/FAX:0595(59)3145
E-mail:shimagahara@hanzou.or.jp

〒518-1313
伊賀市馬場1128番地の1 阿山保健福祉センター
TEL:0595(43)1854/FAX:0595(43)1577
E-mail:ayama@hanzou.or.jp

〒518-1422
伊賀市平田656番地の1 大山田福祉センター
TEL:0595(47)0780/FAX:0595(46)1165
E-mail:ooyamada@hanzou.or.jp

〒518-0226
伊賀市阿保1988の1番地 青山福祉センター
TEL:0595(52)2999/FAX:0595(52)3555
E-mail:aoyama@hanzou.or.jp

● 伊賀市社会福祉協議会ホームページ ● <http://www.hanzou.or.jp/>

編集後記

今月号から文字の基本的な大きさを10ポイントから11ポイントに拡大しましたが、小さなポイントを使用しているところがありますのでご了承ください。これからも少しづつ、読みやすい紙面にしていきますので、社協だより「あいしあおう」へのご意見・ご感想をお待ちしています。

この広報誌は、社協会費、有料広告費等により発行しております。

No.164

9月号 8